

SCHOOL DATA

〒288-0864 千葉県銚子市小船木町 1-385

TEL 0479-33-0009 FAX 0479-33-2281

■児童数/117人 ■教職員数/15人 ■周辺環境/水田、川辺

【平成22年5月1日現在】



銚子市立 椎柴小学校



【椎柴小学校ビオトープの全景】



【児童による観察会のようす】

ビオトープの概要

- 場所/学校敷地外
- 面積/300m²
- 設置者/椎柴小学校ビオトープ整備実行委員会
- 設置した年/2010年
- 主な管理者/椎柴小学校ビオトープ整備実行委員会

【生息している動物】

アメリカザリガニ・クロベケイガニ・メダカ・ドジョウ・ヨシノボリ・モツゴ・オタマジャクシ(カエル)類・ミズカマキリ・ヤゴ(トンボ)類

【生育している植物】

ショウブ・マコモ・セリ・ゲンゲ・イボクサ・オランダガラシ・トキワハゼ・オオアブノメ・オモダカ・ミズワラビ・コナギ等

【コンセプト】

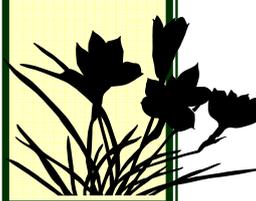
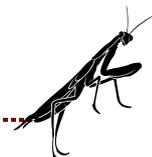
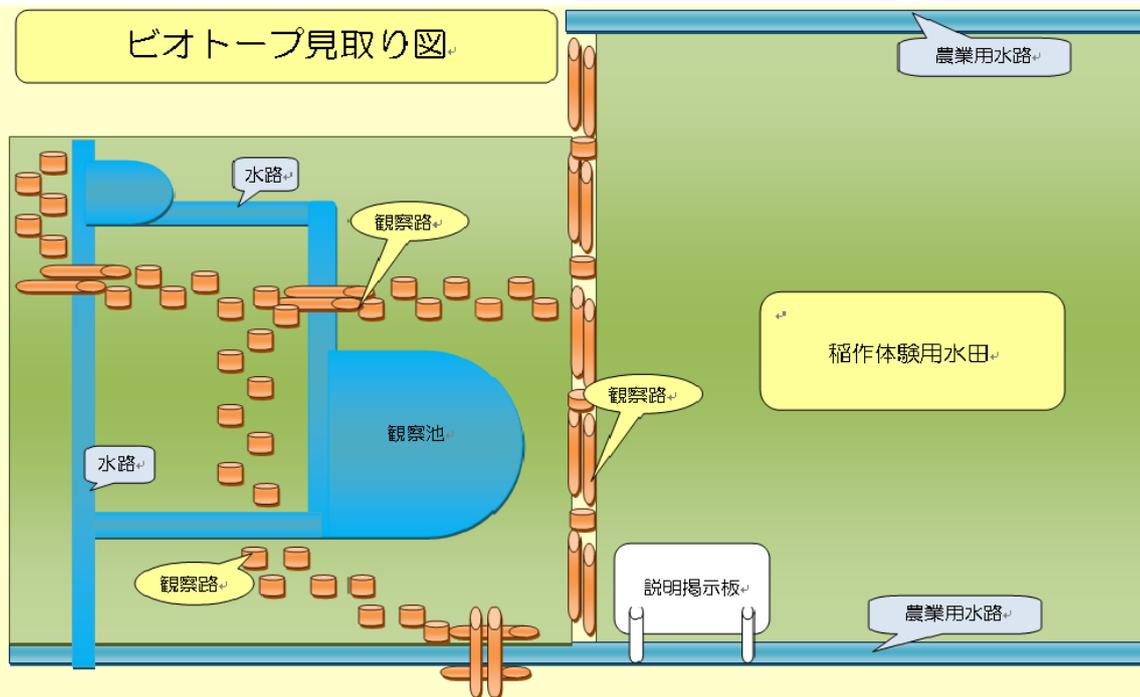
当地域は、利根川に面し、沖積低地では稲作、洪積台地では、畑作が営まれている農村地域である。自然にも恵まれている環境にあるものの、児童が自然に興味関心を持って、積極的に接している状況にない。本校は、平成9年度から環境学習や農業体験の一環として稲作づくりに取り組んでいる。

そこで、水田に隣接する保護者所有の土地を水辺の生物等児童が触れ合う場として提供していただき、畑と生態園を合わせたビオトープとして、児童が自然を愛し、自然を守る精神を醸成していく。

【今後生息・生育させたい生物】

ヌマエビ・テナガエビ・タガメ・ヒシ・エビモ・アサザ・コウホネ・マコモ等

ビオトープ見取り図





【ビオトープにある田んぼで田植えと稲刈り】

ビオトープの活用方法

■児童・生徒

- ・自然と触れあい生態観察、環境学習の場として生活科・理科・総合的な学習の時間の授業で活用する。
- ・田植え体験学習、収穫祭等の学校行事に活用する。
- ・絶滅危惧種ヒヌマイトトンボの生息域であることを通じて、自然保護意識の高揚を図ると共に、郷土愛を醸成する。

■地域住民

- ・児童、職員、保護者、地域住民参加の環境保全活動や自然観察等の開催場所とする。

ビオトープの効果

■児童への効果

- ・生き物に触れたり、観察したりすることを通して、生命尊重の意識や自然・生物愛護の精神が育成される。

■教職員への効果

- ・生活科、理科、総合的な時間の学習でビオトープを活用することにより地域の自然環境を認識し、郷土を誇り、愛する心を育む指導の素地を身に付けることができる。

■保護者・地域住民への効果

- ・保護者や地域住民を対象とする自然観察会を実施することにより、地域の自然への関心や環境保全意識が高まる。

■その他、期待される効果

- ・地域の方々と児童が接することにより、学校と地域の連携が強化されとともに、児童のコミュニケーション能力が育成される。
- ・絶滅が危ぶまれる希少生物を保護することができる。

保護者・地域との連携

■保護者・地域住民

- ・地域住民がビオトープ整備実行員会に委員として参加し、整備等に関わることによって、学校教育への関心が高まる。
- ・学校だよりや学年だより、学校のホームページ等を通して活動の様子を知らせる。



整備・活用・管理等の課題

- ・全学年における教科指導等の中でビオトープを効果的に活用できる単元開発をする。
- ・児童数、職員数共に少ない小規模校であり、職員の校務分掌や児童の委員会活動だけでは管理が難しいことから、保護者や地域住民の協力拡大を図る。

今後の展望

- ・ビオトープを各教科等の学習に幅広く活用していくことで、児童たちへ自然の素晴らしさや環境の大切さを伝えていく場としていきたい。
- ・保護者や地域の方が参加できる観察会等をさらに充実させていきたい。
- ・自然観察会で採取した生物の一部をビオトープに移し入れて定着させたり、バランスのよい生物多様性の場としていく。

整備担当者(教員、児童、保護者等)から

- ・地主や保護者、地域の方を始め、数多くの方にご協力をいただいてビオトープの造成整備がすすめられていることに感謝している。今後も、多くの方と連携しながらビオトープの充実及び維持管理に努め、恒常的に児童の学習に役立てていきたい。
- ・ビオトープを児童の意識の中に定着させるため、校庭内の池の整備や校舎内のビオトープ情報コーナー等の充実を図りたい。
- ・稲作体験や自然観察会が学校教育の中でできることはありがたい。



【ザリガニ釣りのようす】